ボーリング柱状図

調　査　名　砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	6	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	砂防指定地内河川　中の村川４号（Ｃ渓流）　通常砂防事業に伴う測量・地質		北緯	34° 48’ 01.8011″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	東経	132° 50’ 11.1259″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	GH 197.04m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	3.00m	使用機種	試錐機：東邦製D-0型	ハンマー落下用具：半自動型	エンジン：ヤンマーNFD-80型	ポンプ：東邦地下工機BG-3C	

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
0	196.64	0.40		礫混じりシルト質砂	茶																							
	196.04	1.00		流紋岩	黄褐	E	Ⅶ Ⅵ	d	δ																			
1						C		c							1.15	50/16												
				流紋岩	黄褐～白	D	Ⅳ	d	γ	3	砂は細砂主体。GL-0.12mまで草根・葉が混入。φ2mm程度の流紋岩の亜円礫～角礫を含む。GL-0.10-0.40m間，部分的に含水高い。DL～DM級の岩盤。細礫～風化棒状コアとして採取される。GL-0.40～0.75m間粘土化進行。DH級の岩盤。主に礫状～岩片状コアとして採取される。岩片はもろく指圧で粉砕される。GL-1.40～1.65m間，白く変色する。2.80m以深の一部のコアはハンマー打撃で金属音を出す。		D		1.31													
2						C		c							2.15	50/15												
															2.30													
3	194.04	3.00													3.00	50/10				9/26	42	66	S／M W／D	200	70	0	無水／0 清水／11	0 11
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												